

| | | | |
|-----------|------------|------|--|
| 講義名 | (対面)研究演習 | | |
| 講義コード | 15018 | 授業形態 | |
| 担当教員 | 小笠原 宏 | | |
| 開講期・曜日・時限 | 後期 月曜日 5時限 | | |
| 備考 | | | |

| |
|---------|
| ゼミ |
| 小笠原 宏ゼミ |
| 学部 |
| 商学部 |
| 学科 |
| 商学科 |
| 演習名 |
| 小笠原 宏ゼミ |

| |
|--|
| <p>概要説明</p> <p>経営全般に関わるビジネス・モデルの分析及び新規提案を主眼におく。さらに多岐にわたる分野の教養を深めることを目指す。あらゆる方面で現実と直面する様々な課題や問題にどう具体的に対応するかを実践例を含めて考察し、実践することを目指す。</p> |
|--|

| |
|------------------------------------|
| <p>学位</p> <p>経営学修士(MBA)</p> |
|------------------------------------|

| |
|--|
| <p>教員よりの要望</p> <p>前期の専門基礎演習と同様に、基本的にオンライン・ライブ授業で行う予定。コロナ禍改善の兆しなどが未だ診られない状態で、教員が高齢、体調および時病歴から、できるだけ感染リスクを減らしたいと考える。ネットの回線を通して、オンライン授業にアクセスしてきてほしい。使用する映像課題、書籍資料などは、PDF形式などで基本的にネットを通して配布するつもり。レポートなど、受講者の自能力の向上をチェックするような機会も、もつきたいと考える。その他は、講義開始に遅慮なく、申し出、協議していきたい。スーム(会議ソフト)を使用する予定でいる。マイクなど使ってきちんと発言できるようになっているのが望ましい。</p> |
|--|

| |
|---|
| <p>教員英字氏名</p> <p>Hiroshi Ogasawara</p> |
| <p>研究室</p> <p>3411</p> |
| <p>最終学歴</p> <p>慶應義塾大学大学院経済学研究科後期博士課程単位取得満期退学</p> |
| <p>主な研究活動・社会活動・研究業績</p> <p>大学人物略歴欄他参照のこと。</p> |

| |
|--|
| <p>主な卒業論文のタイトル</p> <p>ネットワークビジネスの研究 中国自動車産業の考察 POSの意義と将来性 サッカービジネスの将来性考察 企業評価手法の研究 職業としてのギャンブラー 等多様多彩。 (教員側が指定したり制限したりすることは基本的にない。)</p> |
|--|

| |
|--|
| <p>趣味・特技</p> <p>クレー射撃 ゴルフ テニス スキー 映画鑑賞 旅行 模型製作 他多岐。</p> |
|--|

| |
|-----------------------------------|
| <p>所属</p> <p>流通科学大学商学部</p> |
|-----------------------------------|

| |
|--|
| <p>所属学会</p> <p>金融学会 日本ファイナンス学会 経営財務研究学会 証券経済学会 行動経済学会</p> |
|--|

| |
|--|
| <p>専門分野</p> <p>経営財務 経営戦略 投資戦略 金融論 実験経済学 行動経済学</p> |
|--|

| |
|---|
| <p>選考方法</p> <p>基本的に面接をして希望や方向性を聞きたい。ゼミとは何か、何のためにあるのかの理解、認識がこちらと学生の間で基本的錯誤がある場合が見受けられるため。</p> |
|---|

| |
|---|
| <p>担当科目</p> <p>生活金融論、ビジネス・ゲーム 財務戦略論 ゲーミング演習(院修) 研究演習</p> |
|---|

| |
|--|
| <p>備考</p> <p>本ゼミは、2年後期からの履修可。3年生以降にしばりをかけるつもりはないので、経営財務など、ファイナンス分野、事業経営の専門的な内容の勉強は3年生(研究演習)で行う。3年時(本演習単位取得後)には他のゼミへの転籍希望があれば最優先でバックアップ(受入側教員との折衝は自分で行うこと。サポートはし</p> |
|--|

| |
|--|
| <p>評価方法</p> <p>基本的に基本参考文献などの教材を提示をする。課題予習と討議参加、必要回数のとレポート提出、それを元にした個別面接指導などが基本的運用方法。さらに、それぞれの授業の出席及び貢献度に応じて評価する。受け身の学生は、入ってもおそらく面白くないと思う。もっと群れるか(多人数)賑やかなゼミへいってまわって下さい。</p> |
|--|

| |
|--|
| <p>実務経験の有無及び活用</p> <p>外国銀行及びシンクタンク勤務経験があり、実業界、実務社会での要請や必要要件の理解認識を持っている。ほんとうの「実学」教育訓練の実践を目指している。</p> |
|--|